

第8期鳥取県介護保険事業支援計画・老人福祉計画策定・推進委員会

日時 令和2年9月2日(水) 午後1時30分～3時

場所 ホテルセントパレス倉吉 シャンパーニュ

1 開会

2 議事

(1) 報告事項

県民参画電子アンケートの結果について (P3～31)

(2) 議事

第8期計画における基本目標(案)等について (P89～94)

3 閉会

【資料】

タイトル	頁番号
<報告事項>	
・ 県民参画電子アンケートについて	P 3～31
<基本目標(案)等について>	
・ 基本指針の構成について(令和2年7月27日介護保険部会資料)	P32～38
・ 基本指針(案)について(新旧案)(令和2年7月27日介護保険部会資料)	P39～88
・ 第8期計画における基本目標(案)等について	P89～94

第8期鳥取県介護保険事業支援計画及び老人福祉計画策定・推進委員会 委員名簿

(任期:令和2年4月1日～令和5年3月31日)

No.	分野	所属	役職	氏名	備考	
1	学識経験	鳥取大学地域学部	准教授	竹川 俊夫	委員長	
2		鳥取大学大学院医学系研究科	准教授	竹田 伸也		
3	保健・医療・福祉	①(医)乾医院 ②鳥取県東部医師会	①院長 ②監事	乾 俊彦		
4		①(公社)鳥取県看護協会 ②鳥取県訪問看護支援センター	①在宅支援部長 ②所長	鈴木 妙		
5		鳥取赤十字病院外科	第3外科部長	山代 豊	御欠席	
6		①鳥取県老人保健施設協会 ②(医)賛幸会・(社福)賛幸会	①副会長 ②理事長	田中 彰		
7		鳥取県老人福祉施設協議会	会長	村尾 和広		
8		①(医)もりもと森本外科・脳神経外科医院 ②日本ケアマネジメント学会	①看護部長 ②代議員	金田 弘子		
9		①鳥取県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 ②(社福)こうほうえんデイハウスよねはら	①世話人 ②管理者、介護支援専門員	本庄 研		
10		鳥取県介護支援専門員連絡協議会	会長	石田 良太	副委員長	
11		(一社)鳥取県介護福祉士会	会長	大塚 一史		
12		(一社)とっとり東部権利擁護支援センター(アドサポ)	副代表	垣屋 稻二良		
13		(社福)鳥取県社会福祉協議会地域福祉部	主幹	辻中 順子	御欠席	
14		(一社)鳥取県薬剤師会、小林薬局マロニエ店	常任理事	小林 康治		
15		(一社)鳥取県歯科医師会 公衆衛生委員会	副委員長	國竹 洋輔	御欠席	
16		(一社)鳥取県歯科衛生士会	顧問	高場 由紀美		
17		(公社)鳥取県栄養士会	会長	福田 節子	御欠席	
18		琴浦町すこやか健康課地域包括支援センター	生活支援コーディネーター	池田 則子		
19		被保険者	①(公社)鳥取県認知症の人と家族の会鳥取県支部 ②鳥取県認知症コールセンター	①代表 ②センター長	吉野 立	
20		行政	鳥取市福祉部	次長兼長寿社会課長	奥村上 雅浩	
21	北栄町福祉課		課長	田中 英伸		
22	南部箕蚊屋広域連合		事務局長	中原 孝訓		

令和2年度第3回県政参画電子アンケート
介護保険制度と介護保険料負担等に関する意識調査に関するアンケート結果

令和2年8月7日／長寿社会課

1 調査概要

- 実施期間：令和2年7月22日(水) から 8月3日(月)9:00 まで
- 対象：県政参画電子アンケート会員
- 回答数：421名(回答率 71%)

2 アンケート目的

介護保険制度は、急激な高齢化の進展を見据え、主に家庭で担っていた介護を社会全体で支えるため、平成12年に創設されました。

平成30年度～令和2年度は、介護サービスの提供に要する費用の27%を40～64歳の方が、23%を65歳以上の方が負担しています。(残り50%は国税等の公費負担)

団塊世代の方々が75歳となる2025年、90歳となる2040年に向けて県民の皆さんの介護保険料負担もさらに増加する見通しです。

以上の状況を踏まえ、県民のみなさんの意識を把握するためにアンケートを行うものです。

【回答者属性】

<性別別>

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 182人 | 43.2% |
| 2 女性 | 239人 | 56.8% |

<年代別>

- | | | |
|-------|------|-------|
| 1 10代 | 13人 | 3.1% |
| 2 20代 | 46人 | 10.9% |
| 3 30代 | 82人 | 19.5% |
| 4 40代 | 124人 | 29.5% |
| 5 50代 | 72人 | 17.1% |
| 6 60代 | 50人 | 11.9% |
| 7 70代 | 28人 | 6.7% |
| 8 80代 | 6人 | 1.4% |

<地区別>

- | | | |
|--------|------|-------|
| 1 東部地区 | 208人 | 49.4% |
| 2 中部地区 | 57人 | 13.5% |
| 3 西部地区 | 154人 | 36.6% |
| 4 県外 | 2人 | 0.5% |

【問1】あなたは、高齢者の介護を経験(業務での経験を含む)したことがありますか。もしくは、家族や親戚の中に、高齢者の介護を経験(業務での経験を含む)した方がいますか。(1つだけ選択)

- 1 ある。 125人 29.7%
- 2 自分自身には介護の経験はないが、家族親族等に介護の経験(業務での経験も含む。)がある 196人 46.6%
- 3 ない。 100人 23.8%

【問2】介護サービスの水準を確保しようとするとう介護保険料負担が増加することが見込まれます。一方、介護保険料負担を維持しようとするとう介護サービスの水準低下が予想されます。介護サービスの水準(質・量)と介護保険料の負担について、以下の中であなたの考え方に一番近いものはどれですか。(1つだけ選択)

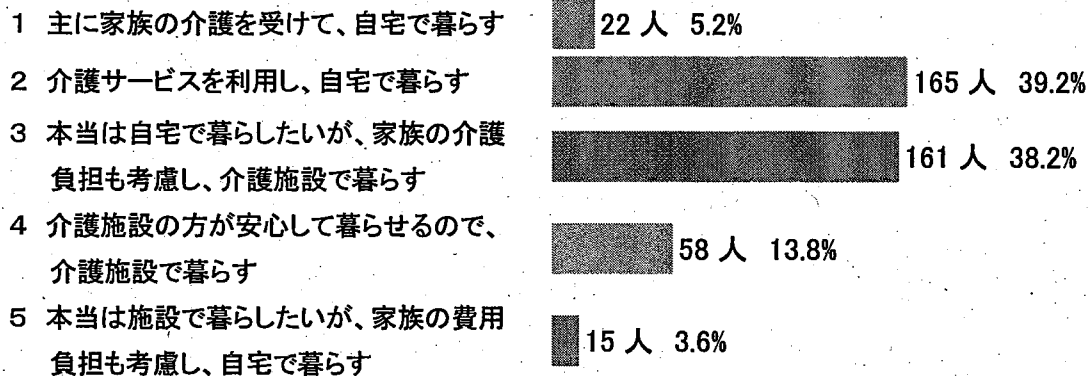
- 1 介護保険料負担が大幅に増加(約2倍)してもよいので、介護サービスの水準を高めていくべき 28人 6.7%
- 2 介護保険料負担がある程度増加(約1.5倍程度)してもよいので、現状程度の介護サービスの水準を確保すべき 197人 46.8%
- 3 介護保険料負担は現在と同程度がよい。この場合、介護を必要とする高齢者は増加していくことから介護サービスの水準は低下するが、やむを得ない 97人 23.0%
- 4 介護保険料は今でも高すぎるので、もっと安い方がよい。この場合、介護を必要とする高齢者は増加していくことから、介護サービスの水準はかなり低下するが、やむを得ない 25人 5.9%
- 5 分からない 74人 17.6%

【問3】今後、高齢者に特に必要となるサービスは何だと思えますか(複数回答可)

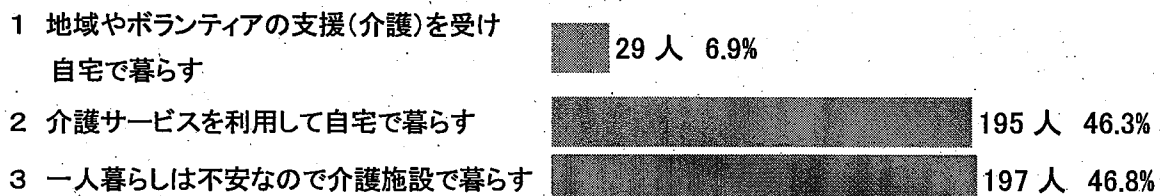
- 1 訪問サービス(自宅でサービスを受ける) 254人 60.3%
- 2 通所サービス(日中等、施設に出向きサービスを受ける) 237人 56.3%
- 3 施設サービス(介護施設に入所しサービスを受ける) 236人 56.1%
- 4 高齢者の交流(高齢者や家族、住民などの交流の場のサロン・カフェ) 161人 38.2%
- 5 ボランティア(ゴミ出しや見守りなどの助け合い) 144人 34.2%
- 6 特になし 7人 1.7%
- 7 その他 15人 3.6%

【問4】あなたが高齢者になり、介護が必要になった時、どのような暮らしを望みますか。以下のそれぞれ想定する場面になった時、あなたの希望する暮らしに一番近いものを教えてください。(1つだけ選択)

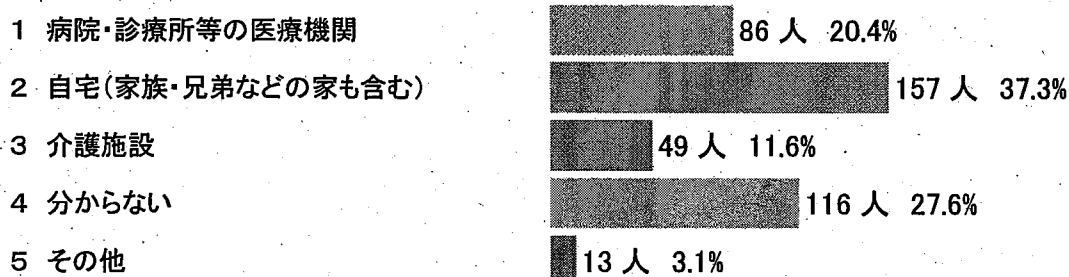
(1)あなたがご家族と同居していて、介護が必要になったと想定した場合、どのような暮らしを望みますか。



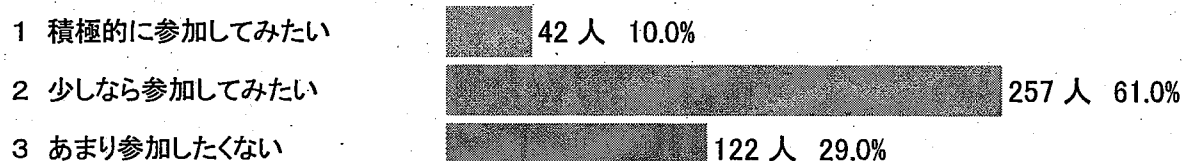
(2)あなたが一人暮らしをしていて、介護が必要になったと想定した場合、どのような暮らしを望みますか。



(3)あなたが高齢者になり、介護が必要になった時と想定した場合、人生最期を迎えたいと考える場所をお答えください。

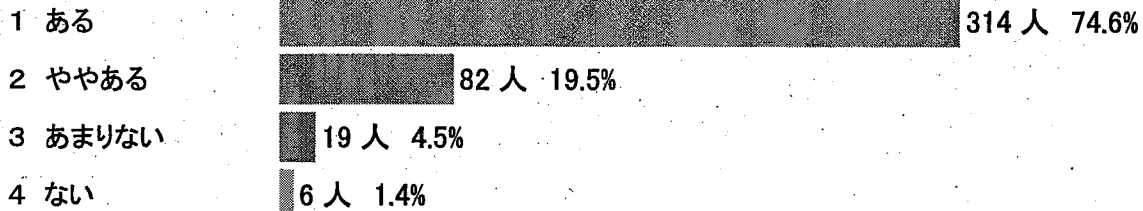


【問5】介護等ボランティアへの参加について、あなたは、高齢者宅のゴミ出しや見守りなどのボランティアに参加したいと思いますか。(1つだけ選択)

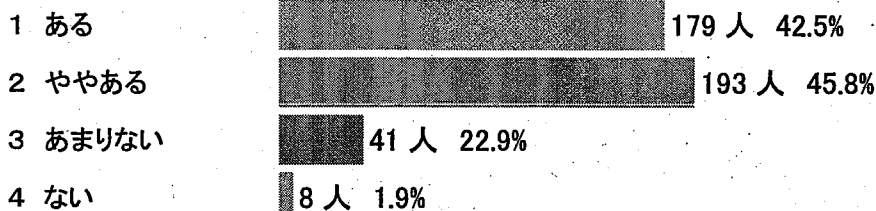


【問6】介護の仕事について、あなたのイメージをお聞かせください。(それぞれあてはまるものを1つだけ選択)

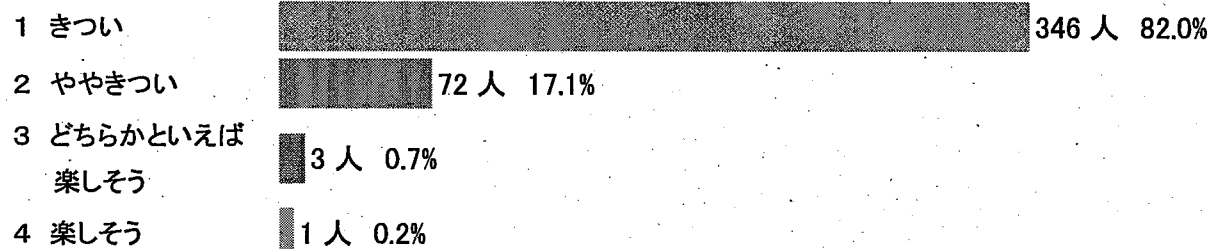
(1) 社会的な意義(人や社会の役に立つ、社会で評価される、など)



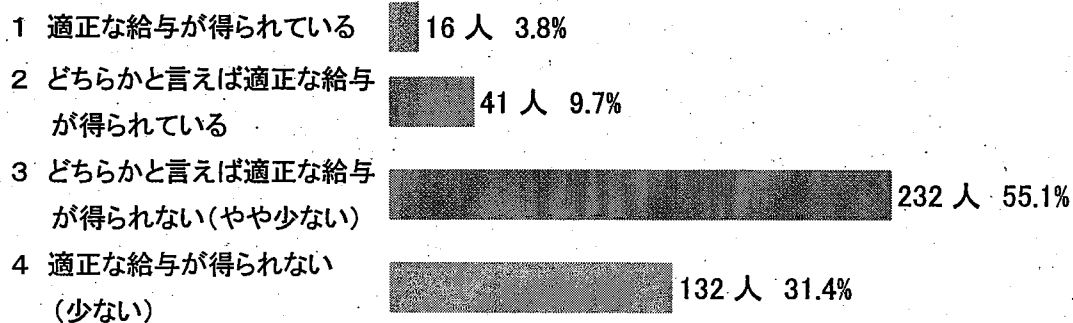
(2) やりがい



(3) 仕事の内容



(4) 給与・収入



【問7】このほか、介護の仕事について感じる事があれば以下にご記入ください。
(2,000文字以内)



【「その他等」の内容】

<【問3】>

- 新聞や宅配が違和感を覚えたら連絡
- 施設は不足している・高額だと思うが、ケースバイケースで難しい設問。高齢者本人・家族の希望を反映できるシステムが必要。
- 動ける高齢者の社会活動が狭くならない工夫が必要だと思います。例えば免許返納後にはどうしても以前より活動の範囲が狭くなる。公共交通機関やタクシーの利用のしやすさなど移動手段の検討が必要ではないかと思う。また、若い世代が働きに出る中、高齢者を見守る体制も地域の繋がりだけに頼ることはできなくなってきたと感じる。
- 自助努力。高齢者層と若年者層で比べると高齢者層のほうが裕福で社会的資源を受け取りすぎているわけだから、高齢者層の中で支えあつたらいい。
- 孤独死防止のため、毎日隣家(限界集落なら役員)に声をかけてもらう
- 異なる世代が助け合えるシェアハウスやアパート、マンション。
- 状態の悪化を回避するためのサービス。家族の負担を軽減するためのサービス。
- 家族が介護できるよう、社会の仕組みを整えること。介護のための有給休暇制度が当たり前になるようにすること。
- 同居の家族が居ても炊事や掃除のヘルパーさんを利用出来るようにしてほしい
- 気にかけてあげたり、訪問してあげることも大事だとは思いますが、高齢者自ら出向くようにしたり、声をあげれるようにすることが大事だと思います。
- 介護職員は賃金が安くどこも人手不足です。地域で活躍してくれる方を各市町村で調整はできないものか。
- 各々の収入条件が異なるのでよくわかりません
- 地域、ご近所の見守り、安否確認
- 現状では、幸い切実な問題には直面しておらず、具体策や案は提示できません。
- もう年だし、ニュースでやっていた安楽死ができるようになればいいです

<【問4】(3)>

- 特に希望はない
- この設問は残酷すぎます。多数決で何かを決める問題ではない。
- どこでもいい
- 今後の日本の状況次第で外国で暮らす可能性もあり。
- 安心して過ごせるならどこでもよい
- 誰でも自宅が良いのではないのでしょうか？人生最期の場所が、病院や施設が良いなどという人は一般的にいないと思います。この設問は愚かしいと思います。
- もはや自分の都合ではなく、周囲に負担をかけないという観点で判断した結果であれば、場所は問わない。
- 介護施設でのターミナルケアを望みます。但し、施設側の連携医療機関から救急搬送の判断をなされた場合には、事前に延命措置なしの意思表示のもとで医療機関での最期もあると思います。
- 元気でゆったりと最後の日を迎えられるような施設。自宅も荷物も片付けて自分の身一つで行けるようなところ。
- 自宅で最期を迎えたいが、疾患によるものなら病院、余命わずかならば自宅に帰りたい、認知になり目が離せない状況なら病院か施設
- どこでも、多くの皆さんに迷惑かけない場所なら構わない。
- 出来るなら自宅がいいが、施設に入っていたらそのまま施設になると思う
- どこでもいい

<【問7】>

- 必要な仕事と認識してはいるが、実際に自分がその仕事をするとなると若干の抵抗があるように思う。
- 長く生きるなら迷惑をできるだけかきめように元気を心がけて行きたいと思う。(難しいけど)介護される側になるときがあるならばできるだけコミュニケーション豊かにいい人でありたい。(難しいけど)
- 体が基本の仕事で、よく腰を痛めているイメージがあるが、給料は安いイメージ。介護の最新の情報や技術を持つ人達であり、今後も必要性が高まる職種であると思う。
- 重労働、一人では出来ないが、社会的評価と賃金が低いと思う。施設職員による利用者虐待などのニュースから、利用者と労働者のメンタルケアも必要だと思う。介護期間が短くなるよう、健康な高齢者を作り出す努力が必要だと思うが、県や自治体のチカラがないと無理だと思う。
- 精神的にも肉体的にも負担の大きい仕事であるにもかかわらず、働いている人への給与、休暇が十分ではない。
- 介護の仕事をしていて、介護士の人手不足が問題になっていてどうしても時間外も働かなければいけなかった。残業代も出ず、給料以上の労働をしていたと思う。介護の仕事は人の人生の最期に関わるやりがいのある仕事だったが、世間的には大変な仕事で給料が少ないというイメージが強いと思う。良いイメージに繋がり、介護士が増えると良いなと思う。
- 業務の負担と給与が釣り合っておらず人員が定着しにくい印象。
- 介護の仕事はストレスも大きいだろうと思う。それが対価を得ることで解消するものだとも思えないが、何らかの形で介護に携わる人たちへの行政側からのサポートはあっても良いのだろうと思う。
- 給与以上に適性がないと厳しいと感じる。
- 下の世話など体力も精神力も必要な仕事だと思います。
- 介護サービスの充実が必要です。
- 体力的にも精神的にも大変な仕事なので、給与を上げてほしい。
- 安い賃金で長時間労働をさせられる事が多いので！働きに応じた賃金を払うようにするべきだと思います。介護職の管理職員の給料よりも！現場での労働者に適正賃金の支給を！
- 今回のアンケートは頭抜けて出来が悪い。何を期待して誰に問うているのか。
- 介護は給与が少ないイメージなので、給与を上げてほしい
- 仕事に従事している人の負担が大きいように見える。(家族が従事している)
- ただでさえ人相手で精神的にも大変な仕事だと感じる。そんな環境なのに職場の職員同士の不具合が理由で離職することが多いと感じる。介護職の離職率の高さは仕事の大変さより職員同士の職場環境にあるように感じる。
- 収入が低い、拘束時間が長い等なかなか雇用が定着せず、人員も少ない中で業務を回しているため人間関係がギスギスしている。認知症や本来の性格からくる利用者の暴言等もあり職員のストレスは溜まる一方だか吐口もない。今後介護職は益々必要性が増す中で現場の声をしっかり吸い上げ策を講じることが国政に求められる。
- 肉体仕事で大変なイメージ。職員のいうことを聞かないと人もいそうで、自分にはとてつとまらない仕事だと思う。
- 大変な仕事のイメージがある。今後の人手不足が心配である。
- 家族が介護施設でお世話になっています。今後の社会では、介護の必要性はとても高いと思いますが、利用してる施設ではいつもスタッフが少なく、ギリギリで業務を回しているように感じます。そのため、介護職に従事する方の環境を改善することが、よりより介護環境を作る一歩になると思っています。
- 介護職の給与額が低すぎる気がする。もっと給与が上がれば本人のモチベーションもあがるのでは。

- 介護施設に入れられない方もいるほどたくさんの方が入っており、施設は増えているが、人はなかなか増えないのではないかと。精神的だけではなく、肉体的に厳しくなって辞める人もいると聞く。バス料金の負担を減らすなど、一人で暮らしていけるような補助を行ってほしい。ネットスーパー(買い物代行)などよりは、バスは必ず走っているし、高齢者事故防止の観点からもバス料金の負担減を希望。なるべく高齢者だけでも生活していけるようにすれば、本当に必要な人が入所でき、負担も減るのではないかと。
- 介護の仕事やサービスに救われている家庭は多いと思う。だが、仕事の大変さに比べて給与水準は低い。もっと優遇されるべき。
- マンパワーの不足。自分がここまでしてあげたいと思うことが他の業務やルチーン業務などを仕事時間内にこなそうと思うとできない。→心身の疲労↑。やりがい↓。(施設によってはルチーン業務やその他の業務でも時間外で働くところがあると聞きます)
- 介護の仕事については保育の仕事でも言われるように、必要不可欠であるにも関わらず待遇が適切ではない。大変な仕事というイメージが強い。ついでに、介護保険料に関しては、これから支払う側になる世代にはとても負担できる額ではないので、これ以上の負担増は現実的ではない。これまで給料が自動的に上がり続けた余裕ある世代から徴収することがなぜ不可能なのだろうか。根本的な問題だが、制度自体の見直しが避けられなくなってきたのではないかと思う。介護とは別に、これらのアンケート自体が自由回答欄が少なすぎる。欲しい答えの方へ導くような選択肢が少なく、意見を広く集めようという意思を感じられない。
- きつい、コミュニケーション大事、
- 肉体労働が大変なのは分かるが、やはり肉体労働であり給与が低いのもやむをえない
- 経験がないので分かりませんが、大変なイメージが強いです。
- 給与が安すぎると思います。介護、福祉に携わる人材(質の高い)確保のためになんとか給与を上げることを考えるべき。また、福利厚生の上も考えるべき。
- 隠蔽体質
- 看護師への待遇も合わせて見直し、改善していく必要があると思う。
- 体力仕事 腰を痛める
- 介護技術や接遇に施設差や個人差が大きい。技術のレベルを上げて、社会的地位、給料も上がっていけばよいと思います。ただただ大変な仕事というイメージが強い。介護が必要でも、こんな風に介護サービスを利用して自宅で生活できているという現実をもっとたくさんの方が知ることができれば、家族に遠慮せず自宅で最期を過ごしたといえるかもしれない。入院日数が年々減らされているので介護の必要性が高まるのは当然、医療費<介護費と考えなければならぬと実感した
- 本当に大変な仕事だと思う。頭がさがる。歳をとると、家族以外の第三者のほうが世話になりやすかったり話やすい、頼みやすいが増えると思う。
- ほとんどの人がお世話になるであろう介護ですが、給料面や仕事のきつさ、離職率の高さなどを考えると、今後の日本では絶対に必要なことなのに、誰もやりたがらない職業になってしまっているのが、日本の政策の下手くそさだと思います。要らないところに大きなお金を使うのではなく、本当に必要とする人や、働きに見合った給料を介護する人に支払うべきだと思います。
- 介護費用が安い、高くて。介護にたよらないからだ作りを推奨すべき。年を取っても 元気に仕事をし若者にたよりきる社会は止めるべきだとおもう。
- 介護職の給料が安すぎる。一人の高齢者を1ヶ月間、施設に入所すると仮定すると、介護職員は入所者に対し1ヶ月間、24時間の管理を担うことになる。その際の介護職員の労働に対する最低限の対価は最低賃金(700円と仮定)(かける)24時間(かける)30日=504000円でなければならない。しかしながら、実際の介護職員の給料は上記金額に遥かに及ばず、毎日きつい、汚い仕事に取り組んでおら

れるのです。預かる側がこのような状態で頑張っておられるのですから、預ける側にももう少し負担をお願いし、介護職員が真っ当な対価を受けれるようにお願いしたいものです。介護保険料が上がる事は、人口動態を考えると仕方ないが、値段が上がる分、介護サービスの地域格差が拡大する事は勘弁してほしい。同じだけ税金を払っていても、他府県と比較しサービスの提供が不十分な事象が出てきています。

- 難しい仕事だと思います。もっと、介護職をしたくなるような報酬や休暇を与えるべきだと思います。
- 老人介護の仕事は離職率が高いため、その分中途採用がされやすく、若い世代からするとセーフティネットになると思います。私も失職したら検討します。ただし、生涯老人介護の仕事続けるのは、自分なりのやりがいを見つけ出すことができなければ苦行でしかないと思います。意見欄がないので。> 介護等ボランティアへの参加について、あなたは、高齢者宅のゴミ出しや見守りなどのボランティアに参加したいと思いますか。(1つだけ選択)これはおかしいです。ボランティアではなく、立派なサービスなので報酬がなければならぬと思います。それと、なるべく介護を受けないようにするため、ピンピンコロリができるようになるため、高齢者はもっと自発的に自己管理をするべきだと思います。墮落な生活を続けた挙句介護が必要になった老人を支えたいと思う人間はいないでしょう。私は6月で40歳になりましたが、早速介護保険料3500円が控除されました。私はこのお金が無駄金になるように、身近な高齢者を反面教師にして、自己研鑽を続けるつもりです。
- 他産業に比べ賃金が低い。大変かつ重要な仕事であるにも関わらず、この賃金の低さであれば特に若い世代のなりては期待出来ない。鳥取県内でも啓発事業が行われているが、労働に見合う賃金体系と人材育成を行わなければ人材確保は困難だと考えます。
- 私は老人保険施設で働く40代男性です。仕事は単純作業が多く、身体、精神的にきつい仕事だと感じています。給与についても多くはないと思います。自分の子供に勧められる仕事ではないです。ただ、たくさんの感謝の声は聞くことができます。サービスするほうがお礼を言われるのはめずらしいのではないかと思います。
- 高齢化社会にむけて、安く安心な養護施設を余剰がある位インフラをお願いします。
- 社会的意義で「人や社会の役に立つ」のは間違いないが、「社会で評価される」は別問題なので、同じ設問に入れるべきではないと思います。介護施設にしても介護関係の専門学校にしても、雨後の筍のように増え、需要と供給のバランスはある程度取れているのかもしれませんが、財政等のことを考えると、処遇を改善するのは難しく、介護職の大量生産・大量消費・使い捨てといったイメージです。介護施設が増えたのをみると経営者は儲かっているのかもしれませんが。
- そもそも介護保険でまかなう仕組みが間違い
- 今後も必ず必要になる業種なのにも関わらず、給料が少なく子育てをして家族を養うことが難しい程度の給料しかもらえていないことは問題だと思う。ある程度の年になったらやめてしまうのはここにあると思う。
- 人対人のサービスの提供でなくとも、人対機械の対応もありだと思えます。積極的に機械化による作業負担の軽減ができないものでしょうか。
- 他業種に比べて、精神的な負担と得られる収入のバランスが悪い。
- 高齢者が増加するなか、現状のままでは介護制度は破綻する。国の抜本的改革が必要。例えば日本の最賃、介護保険料で今の高齢者数に対応するのが困難であれば、業種を絞って外国人最賃を設け、外国人は従業員総数の半分までと制度化すれば、今の保険料で対応できるかもしれない。時給500円でも来てくれる外国の方はいると思う。韓国とかは二重最賃導入してた気がします。若しくは高齢者で凄く流動資産を持っている方限定で流動資産税を導入し、それを介護予算にあてる。払いたくなければ

消費喚起になるし、相続に回るくらいなら介護のために徴収しても良いと思う。介護保険料の増額とか、付け焼き刃の対応は自転車操業だと思います。

- これから介護が必要となる 70 代も、家庭や業務として介護をする側の 40～50 代もあまり人生において苦勞や我慢をしていない世代。介護に関する意識はどちら側もドライになっていくのではないかな…家族間で介護することは減り行政に任せ施設介護が柱になってゆくと思うので業務としての介護を強化していく社会作りを望みます。
- 介護経験者です。介護の仕事はきついものです。100 歳越えた高齢者を自宅で全て見るのには心身共に限界があります。現在祖母を遠方の施設に預けていますが、施設の職員・スタッフには頭が下がる思いです。いずれは自分も誰も同じ様に歳をとり身体も衰えていきます。自分で自分の面倒を見られなくなるその時、何処に世話を頼めるのか。少子高齢化がさらに進み、少ない人員でいかに多人数の高齢者にきめ細かい介護サービスを届けられるか。現在とは状況全く違うでしょう。将来的な予想や見通しは分かりかねます。介護保険制度を短期的に随時見直していく事も必要と思います。介護職に携わる方が労働に見合う相応の対価を受け取れるように、そして被介護者が安心して QOL と人権を尊重される人生を全うできるように望みます。
- とても必要で大事な仕事だと思うが、重労働だったり、不規則な勤務時間だったり、と大変だと感じる。体が不自由だったり、認知機能が低下した高齢者を介護するのは、体力的にも精神的にも職員の負担は計り知れない。
- 家族からすればお金を払っていて、職員はその道のプロなんだからそれなりのサービスをしてほしいと思うし、施設の職員からすれば、家族からの要望は無理を言われていると感じてしまうこともあるかと思えます。家族には見せない姿で職員に対応されたりする利用者さんもおられるかと思えます。職員 1 人で、多数の目を離せない、手を離せない利用者さんたちの対応は緊張の連続であり、事故につながるようなヒヤリもあるかと思えます。自分で選んだ仕事とはいえ時には心折れることもあるかと思えます。単に給与を増やせばいいということではなく、職員を増やす、施設でできることは限られているということの周知必要かと。
- 介護は、需要はあるのに働き手が少ないイメージがあります。キツイ仕事の割に、給料が安いイメージもありますが、介護保険も払って、施設に入るときは年金の 8 割くらい払えば、採算が取れるんじゃないのかと思うのですが、なぜ給料が安いと言われるのか疑問です。身近でないのも、まだまだ実情がわかってないことが多いかと思えます。
- スウェーデンでは、介護職は、公務員が担い、しかも、公務員の中でも高給で地位も高いと聞きます。県民の負担を増やすか、介護の質を落とすかの二択を県民に迫るという発想がある限り、堂々巡りになると思えます。議院や県職員の仕事の範囲や給与を見直して、公務員の定義を見直す時代なのではないかと、思えます。
- キツイのに賃金が安い
- 娘が高校の福祉科に通っており、実習で介護施設に何度もお世話になりました。仕事の内容の大変さを、改めて聞きました。給料が見合った額ではないとかキツイ仕事だと普段から聞きますので、働いている方が満足できる待遇になれば良いなと思えます。
- 介護のあり方は、個人の状況が異なるので、一律に考えるのは困難だと感じる。施設入所も費用面や、職員からの虐待などの報道をみると、安心できない印象。地域ボランティアも、個人情報の問題もあり、なかなか関わりづらい。
- 介護の仕事は体力・精神的に大変な職業だと思います。でも、現状給与が低いのでなり手が少ないかと思えます。給与が上がれば介護職に就くひとも増えるのではないかなと思えます。短時間でも時給が高いといいなと思えます。

- 介護問題についてはとても難しく感じており、特に問4の(1)については家族の介護も負担だろうと思えますしかとって介護に掛かる費用も厳しいだろうとどちらも選べない状況しか想像できません。私自身長生きはしたくないと思うほどです。この様な財政も人材確保も厳しい現在の状況下では介護が介護する側される側とも感謝の気持ちが大事でやってあげてる、お金を払ってるという様な気持ちでいる人が居ればそれは簡単で腕力が要らないものだとしてもとてもきつい仕事になってしまうと思いますし、逆に介護される側もいつも感謝の気持ちを忘れず、介護する側も介護者本人にお役に立てて喜んでもらえるとお互いに寄り添える気持ちが持てる関係性があればそれはきつくない仕事となり得ると思います。結局、人間性が大切になってきてしまうのではないかと思います。本件の資質とは全く違う話となり申し訳ないです。が、給料が高くて何もしたくない様な人格の方であればそんなにきつい仕事はないと思いますし、給料が低くても何かお手伝いをしたいと思える方なら喜んでボランティアになりたいと思います。極端な話をすると、介護される側の面接と言うか資質を問うことも介護の水準を維持する上での1つの要素となり得るかもしれないと思います。
- 給料のわりに仕事がキツイとよく聞くので働く側の精神面、体力面を考慮してあげられたらいいと思う。高齢化社会にも関わらず、現在国は介護にもっと財政を回すべきだと思う。
- 3K、人手不足の仕事のイメージが強いが、実際は少し違うようにおもう。専門性も人間性も問われる。賃金も少しではあるがあがってきている。
- 引き継ぎが大変かもしれませんが、業務を細分化し、介護従事者の負担を減らせたらと思います。介護される側も、何かできる範囲で小さな仕事をしてもらい、達成感、収入につながると、いいと思います。
- 介護士として実際に10年ほど働いたが、給料は労働に見合う物ではなかった。
- 介護施設に関しても、一生懸命しているところもあれば、赤ちゃん扱いのような言葉がけで、他人の私も腹立たしく思う施設もある。なぜ、看護師や介護に携わる人たちは高齢の方のことを自分より年上なのに、敬った接し方をしないのか、いつも疑問を持つ。職員が足りず、質まで問えないのが現状か。仕事量、内容に対して給与が見合っていない分、誇りを持って仕事に臨めないのか。
- 大変な仕事だと思いますが、高齢者への虐待も取り上げられてますので、監視、防犯カメラなどの設置をお願いしたいです。
- 沢山のひとと交代してやらないと精神的にもキツくなりそう。
- 高校を卒業した子供が紹介してもらった仕事のひとつに介護施設がありました。デイサービスの施設でしたが、給料が安いことに驚きました。また、私のお隣に住まれてる方は、認知症な高齢者なのですが、ひとり暮らしで、いろいろ困ったこともたくさんあります。高齢者問題は難しいなあと思いますが、職員さんへのお給料はもう少し高くてもいいと思います。でも、お給料の低い鳥取県では、介護保険料を取られるのはつらいです。。私は46歳で子どもと暮らしていますが、給料は手取りで13万くらい、ボーナスありません。そこから介護保険料を引かれるようになるのかと思うと不安がたくさんです。高齢者多い、最低賃金な鳥取県、いろいろが難しいですが、なんとかやれたらいいなあと思います。
- 介護の仕事はきついと話を聞く。自分がそのときになったらこういう風に思われるのかと思ってしまう。
- 現在、障害者施設で介護職についていますが、給料と仕事内容が割に合わないと、常日頃感じています。家族が、面倒みれないといい、下の世話までさせ、勤務時間も早朝や深夜帯までであるのに、この給料かと思うと情けなくなってきました。いつか、自分も世話される立場になるかも。とか、やりがいがあるとは言っても、限度があります。1日に何度も他人の排泄物を処理したり、利用者からのワガママに付き合っていると、こちらがおかしくなりそうです。給料が多ければ、仕方ないと思えますが、今のままだと不満が募るばかりです。
- 本当にきつい、きたない、給料すくなあと思う。

- 大切な仕事だと思うが適性が必要に思う。
- 介護の資格を取って就職した人も理想と現実の違いなどで離職率が高いイメージがあります。腰痛や夜勤回数の多さなども聞きます。大変な仕事だな、と思います。
- キツイけど、社会的評価も低く、給与水準が低い、離職率が高いと感じます。
- 負担が大きく、収入が少ない。人手不足。施設不足。
- 専門知識を要する人の命に関わる仕事なので、看護師のように給料面でももっと評価されてもよいと思う。
- 介護士の方々にもっと精神的にも肉体的にも余裕が必要だと感じます。介護補助のパワーロボットなどを積極的に取り入れることが大事ではないでしょうか。今のマンパワー頼りの介護ではこの先続かないと思います。
- 体力のある若い方には良いが、中高年となると移乗などたいへんになる。きつい仕事のわりに報酬が少なく、やりがいを感じても報酬が見合わないため転職を考えるひともいる。給与水準が上げられればいいと思う。
- えらいと思う。!
- 多くの業者が乱立してサービスを競い合う事も必要と思いますが、経済的に厳しい方を救済する為、公的機関による経費老人ホームも一定数以上(後期高齢者何人につき、何施設以上等)の確保がいつ八日と思います。
- 介護の仕事を単なるお世話係的に考えてしまう傾向がまだあると思う。介護を受ける側が「食事や身の回りのお世話してもらおう」と考えてしまうせいかもしれないが、本来の介護の仕事はもっと幅広いものだと思う。もっと「これだったらサービスを受けてみよう」と思えるような様々な分野にサービスの範囲を広げていく必要もあるのではないかな。そもそも、誰もがいつでも生きやすい社会環境を整えることが福祉のはずだし、その中で人に直接関わる部分が介護のはず。実践的な介護技術を習得した介護職への注力も必要だが、誰もが生きやすい社会を作るために何が必要かを考えて行って欲しい。
- そうなる事は分かっているので、自分で備えるような教育も必要だと思います。
- 高齢県にしては介護事業が進んでいない。観光、飲食店の保護に回すお金を、介護に回すべきと考えます。
- 介護の仕事に従事する人が足りないことは理解しているが、誰でもができる仕事ばかりでもないで、その育成に力を入れなければならない。危ない人が仕事につかないように気を付けてほしい。
- 介護従事者はもっと評価されて、高収入とすべき。そうすれば介護はもっといい方に向いていくと思う。そのためには、問2とも関連するが、介護保険料を引き上げるのではなく、利益を上げている企業に負担してもらえばいいと思う。
- 会話の可能なお年寄りならやってみたい。
- 介護施設を運営するのは法人ではなく、全て一律に公的な運営(地方自治体)を行う。補助金を受けて、特定の法人が利益を得て、そこで働く介護士等が安い給料で雇用されている実態を無くさなければ、介護士等の地位も向上しないし、モチベーションも上がらない。
- 仕事についてはではないですが、介護施設の料金が高すぎるので、補助金で安くしてほしい
- 実際に介護士として働いています。身体的な負担に加えて精神的な負担も大きい仕事です。それに見合った報酬があれば報われます。
- 大変な仕事だと感じており、この分野こそ AI を活用した介護ロボットの研究などが進んでもらいたいと思います。
- 自宅待機が要求される昨今、介護が必要となる年齢を遅くするための施策も重要になってくると思います。

- 介護の仕事の給料をもっと高くしてあげられる社会になって欲しい
- 問2の設問で、介護保険料の負担の増減で、サービスの維持、低下、等、ございましたが、国の負担割合を増やして、保険料の負担軽減、サービスの維持を図る事が、今後の日本の現状を鑑みて、妥当だと、自分は思います。必要な所に必要な財源を！
- 3Kの仕事が多い。人間関係が難しい。
- 給与の是正は大いにすべき。現状では、保育士と並んで安すぎる。
- 税(社会保険料等を含む)の直間比率の見直し
- 以前ディサービスで非正規の看護師をしていましたが、介護士のモチベーションの低さと言いましょか、仕事に向き合う姿勢があまり素晴らしいとは思えませんでした。生活のために働いている、手を抜けるところは手を抜こうと。利用者さんの様子を見ていれば何をしたいのか分かるんですが、自分から動いて貧乏くじを引きたくないとの様子がありありで、そんな様子がいやでやめました。お世辞にも学力は高くありません。ずるがしこさだけは持ち合わせている。給料が低いのもそれなりに仕方ないでしょう。現実の現場はこのようなものです。ニュースで故意に暴力を振るう。さもありなんです。介護士の給料を上げることに反対です。給料を上げることによってそれなりの人材を集めることに力を上げていかないと、老人を食い物にしようとする業者が増えるだけです。公務員では分からない汚い世界です。給料を上げれば解決できると思っているなら、大きな間違いですよ。1, 2年研修で実習されたらどうでしょう？現場を知らなくて何が語れますか？何の政策が取れますか？
- 大変な仕事だと思います。言うことを聞かない老人(うちの父でした)認知が入ってしまった老人(うちの母です)本当にお世話になりました。そしてお世話になっています。聞き分けのいい老人ばかりではないので色々な事件があると、仕方ないのかなあと感じてしまう自分もいます。(介護士の方は仕事だから、それではいけないのですが…)
- 今、家族が居宅サービスを利用していますが、本人にあった支援内容だけでなく本人の趣味など色々な面でサポートしていただいて大変ありがたいです。自分が介護職として働いていた頃はサービス残業当たり前、薄給当たり前でした。そういう点は改善されたのか心配です。
- 仕事の割に、給与が少ないと思うので、もっと国の補助があればいいと思います。仕事(ボランティアも)した分、本人もしくは、親族の介護の時に、割引いてくれたり、色々な補助が受けれたりすれば、嬉しいです。
- 実父の介護が必要で、主に実母が介護していたが、まず母が疲弊し私に介護が回ってきて大変な時期があった。介護サービスや介護施設を利用した。体力気力がなくなりそうになった。介護施設の職員さんにはとてもなれないと感じた。
- 介護判定を受ける為の申請が個人任せに成っていると感じます。良い申請タイミングを逃さない為に検診システムにしては如何でしょうか。検診ならば高齢者本人、家族共に申請行動への垣根が低くなり、重症化を遅くする事にも繋がると考えます。
- 介護 保育 学童はとても所得が低いと思います
- と関わり汚物などを処理し命に向き合う仕事なので、事務職くらいの給料では少ないと感じます。働き型に関しては、分業などがあっても良いのではないのでしょうか？コミュニケーションが苦手な人もあり、得意不得意もあるので、全てに対応できる人ではなく分業にしたら働き手が増えるのではないのでしょうか。
- 介護の質に大幅な差があると感じています。学校を卒業してから職につく方、社会人になってから経験を重ねてから試験を受ける方と様々。ベースの学力もあると思いますが、質が一定に保てるように部外研修等の充実、研修が必要ではないのでしょうか。

- 介護する人される人ともに笑顔で喜びを与えられる関係が築かれることができる社会になることを願います。排せつのお世話、食事介助など介護する人の負担はとて大きいので介護される人、家族も感謝の気持ちを大切に介護を受けてほしいと思います。
- とても必要な仕事だと考える。実際 両親か お世話になっているが、時には 家族の理不尽な怒りの矛先にもなることもあると思う。にこやかに対応してくださる姿には頭が下がる思いです。とてもハードな仕事だと思うのに、対価が低いと思います。
- 施設がありすぎて判断基準がわからない。
- 施設利用や入所をしている高齢者が親戚等にいるが、施設により介護サービス・介護士等の資質の差を感じる。激務の割には給与・休暇面等、様々な面で恵まれていないイメージがあり、やはり施設環境・人的環境等、今後は働き方改革をより一層進めていかないといけない分野ではないだろうか。全国的にも介護士の人数が不足し、外国人労働者が増えつつある現在、雇用労働条件を見直し充実した介護サービスが提供出来るように、改革改善策を考える必要があると思う。
- 介護の仕事は重労働だと聞いています。身体だけでなく精神的にも大変だと想像できます。疲れたとき、心が折れそうになった時の介護従事者にケアできる環境になればいいなと思います。長く働ける環境づくりが大切だと思います。
- タフな体力、強い精神力が必要な仕事で自分には出来ないで尊敬の念を持っている。次から次へとすることがあり、1日50時間でも足りない知り合いの看護師が言っている。介護職やコロナ対応に追われている看護職の方々を厚遇してあげて欲しい。自分自身未婚の為いつの日か自分の事が出来なくなった時、スムーズに介護施設に入所出来るのか不安に思う。
- もっと高い給与を保障するべきだと思う。
- 書類書きの様な間接的な仕事が多くもっと簡単にすべき。そうすれば生産性も上がり介護費の抑制につながるのではと思います。
- 介護の仕事についてはかなりきついので今後報酬を増やしていかないと人手不足になると感じている。また、新型コロナの影響で被感染リスクよりも当人が感染して持ち込んだ施設等がクラスターとなるリスクに脅えて、一般の方よりも、より慎重より緊張した生活を送っているにも関わらず政府、行政の配慮が不足していると思う。経済の活性化も重要ではあるがそれ以前になすべきことに税金を投じてほしい。
- 現在、両親とも施設に入所しているが、実子でもできないことを介護士の方に任せている。そのことから、介護士の仕事は精神的にも体力的にも非常にきつい仕事だと思う。その仕事に見合った収入が得られて、意義ある仕事だと思えるようにしてほしいと思う。
- 人間扱いしないといけないとは、思うが寝たきり等、本人の意思が伝えられないような場合は、たいへんな重荷になる。世間、介護できない家族から非難されることのないようにしなければならない。
- 親戚に介護関係の仕事をしている人がいますが、ほとんど会ったことがないくらい忙しいみたいです。もっと保証(給料)をたかくして、人材を増やす政策を進めて欲しいと思います。
- 体力的にも、精神的にもタフな仕事。社会的な地位と報酬が必要だと考える。今後そのニーズは増加する。人材確保と税金確保が課題となる。消費税をこれに充てる必要がある。また、生命保険に介護保険を特約として、加入者にはより多くの税制優遇制度を、使えるようにする工夫も必要。ロボットの導入も積極的に対応して欲しい。
- 収入については、いくら収入があるのかわからないので答えられない。
- きつい仕事だと思います。
- 仕事の内容と比較し社会的に正しく評価されていない節が散見される。介護の仕事への啓蒙を子供教育の年の若いころから行い、社会的地位(給与面を含め)の向上を図ることが必要。
- 介護の仕事のイメージをアップさせるべし。

- 仮定とイメージの質問も為、回答しづらかった。介護認定のレベルで暮らし方の回答は変わるし、介護の仕事イメージはわからないの選択肢が欲しかった。
- 介護に関する報酬が少なすぎるではないでしょうか。
- 親が介護施設で世話になっています。施設のスタッフの皆さんにとってもよくしていただき感謝していますが、一時期スタッフの入れ替わりが多い時期があり介護の仕事内容の大変さに見合うだけの報酬が得られているのだろうかと思いました。ぜひ、介護施設で働いているスタッフの皆さんが、やりがいをもって、介護を受ける方々と接することができるような待遇になることを願っています。
- 認知症、体力筋力低下、一人暮らしの方が介護、看護、医療サービスを受けつつ生活している現場をよく見かけます。大丈夫なの？と驚きますが、細やかなケアに支えられていることに感慨深い思いを抱きます。すべてに手厚くは難しいですが必要不可欠な制度ですね。
- とても大変仕事です。だからそれに見合った給与を出すべきです。議員さんよりももっと多く給与が出れば、従事する人も多くなるはず。
- 離職される方が多いと聞きます。根本的に何が問題なのかを解決しないとこの課題克服は難しいのでは？
- 父がサ高住にいますが、ヘルパーさんを信頼しており、とても助かっている。本人も満足している。ヘルパーさんも介護付き施設のヘルパーさんより、余裕があり、楽しそうに思います。
- 色々な症状の方の介護は重労働と精神面でも大変と感じます。
- 介護ロボットを上手に使うって、力仕事を少なくする。高齢者と介護者は人間同士の触れ合いができるような施設を作る。
- 大変の一言に尽きる。報酬が少なすぎる。
- 問2で介護保険料がアップのことがありますが、私は保険料はあまり高額でない適正で、サービスは可能な限り高めるべきだと思います。質問では、高額してもよいから、と感じられますが、低額ではサービスがダウンしない前提であるべきだと思います。高齢者は、高齢になるまで、各種の税金を納めております。せめて、高齢になったら、低額で高いサービスをすべきです。消費税、子供や高齢者を含めて、国民のために使用すべきです。税金の使い方、国民のために使うべきだと思います。
- 介護施設及び入所定員の拡充を願う。
- 事実、高齢化になっている現状を鑑み、どの様に出来るのか、年々体力、気力も減退する中、私自身、如何に健康維持が出来るか、日に日に不安感がますますばかりです。冗談めきにして、延命治療も考え思う時もあります。痴呆等にでもなれば、本人は分からず、他人様に益々多大な迷惑をかける結果になり、それだけでなく介護費用の増加も考えられます。如何にして他人に迷惑をかけないで過ごせるのか、小生、最低限のウォーキング等も心すべきと考え実行もしていますが…。若い方の負担軽減や、生きがいのある人生を送るには、貯えがあつての対応につながります。極論を言えば、立場立場で異なりますが、綺麗ごとばかりいっている高額な議員報酬や手当を、授受する国会議員、中には地方議員も多数おり、これらの、議員定数や報酬を削減すべきと取り敢えず思います。現実と理想が余りにもかけ離れ、真剣に討議し、どの様に実行していくのか、頭の痛い避けては通れない問題と痛感しています。ボランティア活動を必要ですが、日常の貯えが足らなくて参加をしている方も多く、ボランティア活動の内容を考えて参加をすべきと思います。
- 私の住んでいる所は、ほとんど高齢者である。全員がよそから移ってきた人ばかりの為、近所付き合いがない。ゴミ出しや買い物をやってあげたが、みんな断られる。
- 支援する行政側のきめ細やかな体制作りと施設などの職員の思いやりの感じられる利用者への対応が上手くマッチすることが大切だと思います。

- 介護の仕事は、重労働で、精神的にもきつい仕事だと思います。現在、NPO 法人で行っているところが多くなってきたり、別の産業を営んでいた人が、補助金狙いで経営に参加していることが増えているように思います。そのことで、経営がずさんになって、介護士の給与が安くなっている等の待遇の悪いところが、多々見受けられます。もう少し、認可の時に厳しくチェックする必要があるのではないのでしょうか。
- 私は15年ほど父の介護しましたが大変でした。受ける側は家族に介護してほしいし、介護する側は15年も経つと疲れてきて施設には行ってほしいと思うようになります。悪いと思いながら接し方も冷たくなってきます。男女の違いはあるのですが、核家族の社会は経済的に余裕があれば誰も家族に迷惑かけたくないなので施設で介護してほしいと思うのではないかと考えます。
- 県や市町村において、公立で安価な介護施設の増設を望む。介護職員の待遇の改善を望む。
- 介護サービスを利用する時は原則1割負担です。(所得の多い人は2割負担ですが、)別にリッチ向け民間サービスもありますね。そこで養護老人ホーム等の施設に入ると、1割負担は安すぎます。だって家に居れば、電気、水道、ガス、家の維持管理費がいりますね。それが施設の入ったら人の世話になりながら、電気、水道、食事も安いです。なので最低2割負担にするべきです。誰でも出来る簡単な仕事は給料が安いです。誰にもできない難しい仕事は給料が高いです。介護施設での仕事は特殊性ですからもっと貰えなさい。
- (給与)具体的な給与水準は良く知らないが、色んな情報から判断する給与水準が低いのではないかとされる。介護の仕事で生活できるような手当が必要と思う。
- 母がデイサービスでお世話になっておりますが、介護士さんの心配りに、いつも感謝しています。
- 現在の介護等について不安しかない。
- 介護の仕事をしているかたはとても大変だと思う。家族で見てあげられないのに要求は多い。もう少し国から補助があったらいい。
- 介護の仕事は大変ですが、職業として選んでいる人は、割り切って挑んでおられるのかなあと思っています。そうではなくて、自分自身が仕事をしながら、家族を介護し続けるのは、とても困難を極めるのではないのでしょうか。そんな時には、やはり訪問看護や、訪問介護を利用させていただいて、頑張るしかないのかなと思います。自分自身も、近い将来そんな時が来るんじゃないかなあと、覚悟をしているところであります。短い間ではありましたが、私自身が経験した、母の介護から学んで思った事を、記させて頂きました。
- 医療制度から介護保険を切り離れた時点から利便性並びに施設事業者の増大により利用者が増大に比例し保険料は増加してきた。2025年団塊の世代が後期高齢者年限に達すると同時に2040年代には8050問題が大きく影響して介護制度がひっ迫した状態になる事は周知のとえ方であります。これからは自宅介護を中心とした制度の見直しは絶対不可欠と考えます。
- 問2の選択肢では回答できない。仕方ないから、わからないを選んだ。保険料が高くなっては困るなら、サービスを低下させるぞという前提は置いてはならない。国費の支出をもっと増やさなければ介護保険は破綻することは明らかだ。ポンコツ兵器の爆買いをやめて、健康保険、介護保険、生活保護、低所得者援護などに、もっと経費を注入するべきだ。他に冗費はいっぱいあるし、大企業の負担をもっと増やし、高所得者の税率を応分のものにすれば、その経費は十分出るはずだ。人の命を第1に考える施策であってほしい。低所得層や中小企業が生きていかれなくなっている。少子化による人口減少などという、先の問題ではなく、コロナ禍の結果がこれを早め、猛烈な労働者不足になりかねない。外国人労働者にたよろうというのでは追いつかないことになるだろう。これらは大企業、高所得者を養う「根っこ」であることを忘れてはならない。根っこが枯れば、大木も枯れる。上記の政策は、真の大企業・高額所得者の生き残る道だと考えるべきだ。書けば限りがないが、アンケートの作り方にも、さらなる研鑽を積

まれない。人をマイナスのスパイラルに押し込むような設問はすべきでない。自由記述の欄を作っていたのは、ありがたいことで、これがなければ、回答者を辞退しようと考えたくらいです。

【回答者属性】

<性別別>

性別	1 男性	2 女性	総計
人数	182	239	421
割合	43.2%	56.8%	100%

<年代別>

年代	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代	5 50代	6 60代	7 70代	8 80代	総計
人数	13	46	82	124	72	50	28	6	421
割合	3.1%	10.9%	19.5%	29.5%	17.1%	11.9%	6.7%	1.4%	100%

<地区別>

地区	1 東部地区	2 中部地区	3 西部地区	4 県外	総計
人数	208	57	154	2	421
割合	49.4%	13.5%	36.6%	0.5%	100%

<市町村別>

年代	1 鳥取市	2 米子市	3 倉吉市	4 境港市	5 岩美町	6 若桜町	7 智頭町
人数	190	100	29	21	5	1	1
割合	45.1%	23.8%	6.9%	5.0%	1.2%	0.2%	0.2%

年代	8 八頭町	9 三朝町	10 湯梨浜町	11 琴浦町	12 北栄町	13 日吉津村	14 大山町
人数	11	3	8	8	9	6	10
割合	2.6%	0.7%	1.9%	1.9%	2.1%	1.4%	2.4%

年代	15 南部町	16 伯耆町	17 日南町	18 日野町	19 江府町	20 県外	総計
人数	7	4	4	0	2	2	421
割合	1.7%	1.0%	1.0%	0.0%	0.5%	0.5%	100%